

大昔へのまなざし

～大昔の生活をどうイメージしてきたか～

10.4 土 ▶ 12.7 日

小説家
Novelist

画家
Painter

アニメーター
Animator

観覧料 | 一般 300 円、高校・大学生 200 円、小中学生 50 円

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目 10 番 5 号

TEL 054-285-0476

<https://www.shizuoka-toromuseum.jp/>



静岡市立登呂博物館



大昔へのまなざし

～大昔の生活をどうイメージしてきたか～

先人たちの「私たちの遠い祖先が、どんな生活をしていたのか」の探求によって導き出された研究成果が、その時々によってイメージ化され、作品（絵画・小説・漫画・アニメ・音楽など）となりました。それらを通して、大昔の人々の生活の様子が私たちにどう定着してきたかを探っていきます。

① 時代ごとの表現者による時代表現

人々の大昔への探求は、古くは江戸時代に誕生した好古家にさかのぼります。そして、明治期には大森貝塚の発掘により、日本で考古学が芽生えます。戦後、登呂遺跡の発掘調査が神話的な歴史から科学的な歴史へと変わる転換点となりました。その後も多くの発掘調査が行われ、表現者たちはその成果を取り入れた作品を生み出しています。

江戸時代

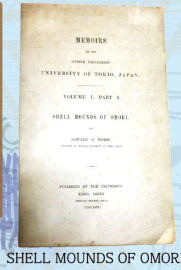
明治～戦前

戦後～平成

令和

好古家の活躍

考古学のめばえ



科学的な新しい考古学

登呂
岩宿
夏島
月の輪

手塚治虫

園山俊二

星野之宣

古墳ギャルのコフィー

美内すずえ

レキシ

たかしよいち

はに丸

玉利勲

リチャード・ウー

中村真理子

などなど

② 登呂遺跡はどうつたえられたか ～ 唐古遺跡から登呂遺跡へ～

「登呂遺跡の発掘調査の成果から生まれた作品」や「登呂遺跡にまつわる作品」を展示し、あらためて登呂遺跡について考えながら、それらの作品を通して登呂遺跡のイメージがどのように成立していったのかを探っていきます。

唐古

登呂の発見・発掘・整備

イメージの拡大

登呂の再発掘と再整備



森豊

たかしよいち

中村稔

教科書

新しい登呂遺跡像

関連講演会 「マンガ作品にみる旧石器～古墳時代のイメージ」

手塚治虫、石ノ森章太郎、美内すずえから武富健治までの漫画作品を取り上げて講演いただきます。

- 日時 令和 7 年 11 月 23 日（日）14:00～16:00
- 費用 無料
- 定員 50 人程度
- 講師 尚美学園大学総合政策学部 客員教授 櫻井 準也 氏
- 申込 登呂博物館HPからの電子申請または電話による事前申込制（先着順）
- 場所 登呂博物館 1 階 登呂交流ホール
- 申込期間 令和 7 年 11 月 1 日（土）9 時～

歴史は漫画家たちにどのような影響を与えたのだろうか？

展示解説

当展示の魅力や見どころを解説します。

- 日時 令和 7 年 10 月 18 日（土）、11 月 30 日（日） 各日 10:30～、14:00～
- 場所 登呂博物館 2 階 特別・企画展示室
- 費用 無料（要観覧料）



（バス）
JR 静岡駅南口 22 番乗り場から
石田街道線「登呂遺跡」行き（10 分）終点下車
（車）
東名静岡 IC から 10 分
東名日本平久能山スマート IC から 10 分
遺跡南側に有料駐車場 50 台有り（普通車一回 400 円）